

処方・注射オナーダ標準用法 規格

日本病院薬剤師会 情報システム特別委員会

日本医療情報学会 標準策定・維持管理部会

池田 和之

第21回日本医療情報学会春季学術大会 COI開示

演題名 : 処方・注射オード標準用法規格

筆頭演者名 : 池田和之

私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません。

処方・注射オーダー標準用法マスタ (正式名: 処方・注射オーダー標準用法規格)

【規格の目的(ユースケースを含む)】

「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」(2010年1月、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室)の「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の使用、整備に関する記載を受け、(公社)日本薬剤師会と(一社)日本病院薬剤師会より公表された「標準用法用語集」に掲載された用法と用語を対象として、医療情報システム実装のためのコード化を(一社)日本医療情報学会が担当しました。近い将来の電子処方箋も視野に入れた、処方・注射オーダー情報の標準化を目的としています。

処方・注射オーダー標準用法マスタ (正式名: 処方・注射オーダー標準用法規格)

【規格の適応領域】

処方・注射オーダーリングシステム等、医療情報連携での使用を想定しています。

【関連他標準との関係】

本書は「標準用法用語集」で提示される標準用法一覧に掲載されている用法と用語だけを対象としてそのコード化を行うものとし、用法記述について本仕様独自の変更や追加は原則として行いません。また、JAHIS 標準(処方データ交換規約、注射データ交換規約)や SS-MIX2(処方オーダー、注射データ)等との関連があります。

処方・注射オーダ標準用法マスタ (正式名: 処方・注射オーダ標準用法規格)

【規格の入手方法】

本書は、日本医療情報学会のホームページから入手できます。また、「標準用法用語集」は、日本病院薬剤師会のホームページより入手可能です。

【メンテナンス状況】

本書のメンテナンスは日本医療情報学会の標準策定・維持管理部会が必要に応じて行います。また、用語集のメンテナンスは日本病院薬剤師会および日本薬剤師会で行いますが、双方で同期をとって実施します。

【現在の改版状況】

2016年2月現在、本書の最新版は2016年1月に制定された「処方・注射オーダ標準用法規格」です。「標準用法用語集(第2版)」に基づいています。

内服薬処方せんの記載方法の 在り方に関する検討会報告書

あるべき姿

処方せんの記載方法が統一されていないことに起因した記載ミス、情報伝達エラーを防止する観点から、患者、医療従事者を含め、誰が見ても記載内容を理解できる処方せんの記載方法を標準化し、医師法、歯科医師法等の関連法規との整合性を含め、我が国の全ての医療機関において統一された記載方法による処方せんが発行されることが望ましい。

内服薬処方せんの記載方法の 在り方に関する検討会報告書

あるべき姿

4)「用法・用量」における服用回数・服用のタイミングについては、**標準化**を行い、情報伝達 エラーを惹起する可能性のある表現方法を排除し、日本語で明確に記載することを基本とする。

短期的方策

5)「用法・用量」における服用回数・服用のタイミングについては、処方オーダーリングシステム等において用いられる1回量による処方を前提とした**標準用法マスタ**を作成し公表を行う。

日本医療情報学会における策定の経緯

処方用法コード標準化検討WG

(2010年11月21日~2011年11月20日)

【最新版】JAMI標準(JAMISDP01):標準用法規格
(2016.06.30版)

(正式名:処方・注射オ一ダ標準用法規格)

(理事会承認日:2012年2月16日)

2014.11.25版:改訂

2016.01.20版に改訂

2016.05.01版に改訂



Japan Association for Medical Informatics

一般社団法人 日本医療情報学会

お問い合わせ

Eメール

医療情報研究者や実務担当者の学術交流の場です

English

検索

医療情報の標準化に関する情報・資料など

SS-MIX2 仕様書・ガイドライン

SS-MIXのページは[こちら](#) (Ver1.2dに改訂しました(2017.1.31))

標準策定・維持管理部会

- 標準策定・維持管理部会の運営の方針 (2011.5.12理事会承認)
- 日本医療情報学会が定める 医療情報関連領域標準 (JAMI標準) を定める手順 (2011.5.12理事会承認)
- 生活習慣病4疾病の「ミニマム項目セット」および「どこでもMY病院疾病記録セット」

各種WG一覧

- 処方用法コード標準化検討WG (2010.11-2012.3終了)

JAMI標準および関連資料

- JAMIが管理するOID表 (Excel版、PDF版) 2014.10.30版
- <参考資料> OSIに関わる組織の更新通知書 (PDF版) 有効期限：平成30年7月16日
- 【最新版】JAMI標準(JAMISDP01)：標準用法規格 (2016.06.30版) (ZIPファイル版)
(正式名：処方・注射オーダ標準用法規格)
(理事会承認日：2012年2月16日)
(2015.08.20) 2014.11.25版に改訂しました。
(2016.02.12) 2016.01.20版に改訂しました。

| トップページ

| 会員専用(マイページ)

| 日本医療情報学会とは？

| 日本医療情報学会について

| 個人情報に関する基本方針

| 事務局所在地

| 入会のご案内

| 退会と登録内容変更の方法

| 医療情報技師育成事業

| 市民の皆様へ

| 医学・医療関係者の皆様へ

| 学術大会・行事等

| 「医療情報学」・論文集・資料等

| 看護部会からのご案内

| 医療情報の標準化

| 関連リンク集

策定の手順

関連団体からの
用語追加依頼

日本薬剤師会・
日本病院薬剤師
会で用語追加の
是非検討

日本医療情報学
会でコード化を実
施

平成28年1月20日

会員 各位

公益社団法人 日本薬剤師会
一般社団法人 日本病院薬剤師会

標準用法用語集（第2版）の公表について

平成22年1月に発表された「内服薬処方せん記載の在り方検討会報告書」において、標準用法マスタを作成することが述べられております。標準用法マスタを作成するためには、まず、用語を定めること及びそれらを電子カルテ等の情報システムに実装するためのマスタ化が必要であり、前者については（公社）日本薬剤師会及び（一社）日本病院薬剤師会が、後者については医療情報学会が役割分担をすることとなっております。

これに従い平成23年9月に「内服薬、外用薬に関する標準用法用語集(第1版)」が公開され、本用語集を基に日本医療情報学会がそのマスタ化を行い、「標準用法マスタのJAMI標準」が制定されております。

昨年、従来の標準用法用語集に内服薬・外用薬についての用法用語の見直し及び注射薬に関する用法用語を追加することとなり、「標準用法用語集第2版(案)」が作成されました。第2版においては、第1版の見直しに加えて在宅医療の現場での利用も念頭に、注射部位や手技、施術者等についての用語が追加されています。その後パブコメの募集が実施され、そこで出された意見を参考に最終的に「標準用法用語集（第2版）」が作成されました。

第2版につきましても、前回同様、医療情報学会によりマスタ化が図られることとなります。

尚、新たな用語の追加等、用語集に関するご意見は youhou@jshp.or.jp 宛に、メールにてお願いいたします。

会員各位におかれましては、別添の「標準用法用語集（第2版）」をご覧ください、関係者に情報提供するとともに周知していただきますようお願いいたします。

標準用法用語集

標準用法用語集
(第2版)

平成28年1月

公益社団法人 日本薬剤師会
一般社団法人 日本病院薬剤師会

処方・注射オード 標準用法規格

処方・注射オード標準用法規格

JAMI 標準

2016年1月

日本医療情報学会

1. 目的と名称

2. 取り扱う用法の種類

3. 対象とする用法と用法記述

4. コード体系の基本方針

5. 内服コード体系の仕様

6. 外用コード体系の仕様

7. 注射・注入コード体系の仕様

8. 処方スケジュール用法の仕様

9. 不均等投与の仕様

10. 用法コード表

11. 用法コードに1対1対応する用法名称

12. 用法コードの管理情報

13. 文中から参照される表

処方・注射オーダ 標準用法規格

目的やコード化の原則など、
基本的な内容を記述

各用法区分における
具体的な使用法や内容を記述

補足コードに関する内容を記述

本規格で使用するコード表等
を記述

処方・注射オーダー標準用法規格

- 1 日内での服用タイミングや投与回数、服用方法の記述方法が対象
- 注射・注入コード体系の仕様を追加
- スケジュール用法の仕様、不均等投与の仕様を策定
- 本規格はここで提示された標準用法一覧に収載されている用法と用語だけを対象
- 本仕様独自の変更や追加は原則として行わない

処方・注射オード標準用法規格

16桁コード仕様表

用法種別	タイミング種別	第1桁	第2桁	第3桁	第4桁	第5桁	第6桁	第7桁	第8桁	第9桁	第10桁	第11桁	第12桁	第13桁	第14桁	第15桁	第16桁	用法記述の一例			
		基本用法区分	用法詳細区分	タイミング指定区分	1日内のタイミングに関連する情報										時間的要素・機器区分	実施環境・施行者					
内服用法	食事等タイミング基本	1:内服	0~3	1	1日服用(外用)回数	就寝前の服用指定	夕食時の服用指定	昼食時の服用指定	朝食時の服用指定	起床時の服用指定	時刻指定の服用*	-	-	-	-	-	-	1日3回朝夕食後			
	1日回数と時間間隔明示			2		1日での服用開始時刻*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1日3回 8時間毎	
	1日回数と服用時刻を明示(時刻指定型Ⅰ)			3		第1服用時刻	第2服用時刻*	第3服用時刻*	第4服用時刻*	第5服用時刻*	第6服用時刻*	第7服用時刻*	第8服用時刻*	-	-	-	-	-	-	1日4回 6時、12時、18時、23時	
	1日回数とイベントを明示(時刻指定型Ⅱ)			4		イベント区分	イベント詳細区分	イベント附帯条件区分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1日3回 哺乳時
外用用法	生活リズム基本	2:外用	A~U															-	1日1回就寝時塗布		
	1日回数だけを明示																	-	1日3回程度吸入		
	時間間隔で明示																	-	2~3時間毎吸入		
内服・外用共通	頓用	1:内服 2:外用	0~U															-	喘息発作時、3時間以上あけて1日最大3回まで		
注射・注入	上記すべて可能	3:注射 4:注入	0~Z															上記準拠	1~5	1~4	

● 16桁のコード
● 1日の中のタイミングを記述

一の欄は未使用の桁で0を設定する。*の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合に0を設定する。

表15:実施環境・施行者区分

医療機関・医療従事者	1
医療機関・自己	2
在宅・医療従事者	3
在宅・自己	4

表14:時間的要素・機器区分

ワンショット	1
点滴	2
持続投与	3
持続投与(輸液ポンプ使用)	4
精密持続投与(シリンジポンプ使用)	5

処方・注射オード標準用法規格

8桁補足用法コード仕様表

	第1桁	第2桁	第3桁	第4桁	第5桁	第6桁	第7桁	第8桁	用法記述の一例
補足用法種別	補足用法区分	補足用法に関連する情報							
日付間隔指定	I	連続服用日数	連続休業日数	—	—	—	—	—	隔日投与
曜日指定	W	服用有無(日曜)	服用有無(月曜)	服用有無(火曜)	服用有無(水曜)	服用有無(木曜)	服用有無(金曜)	服用有無(土曜)	火曜日、金曜日に服用
日付指定									10日、30日に服用
期間内回数指定									1回服用
不均等	V	指定するタイミングの服用順	指定したタイミングの服用量 (数字0~9、小数点、Nを使用)						朝1錠、昼2錠、夕3錠服用

補足コード

・1日を超えたスケジュール用法(曜日指定など)

—の欄は未使用の桁で0を設定する。*の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。

処方・注射オーダー標準用法規格

医療情報システムの用法コードとして

他施設との処方情報の情報連携

- 電子処方箋
- 地域連携

処方関連の他施設共同研究

ご清聴ありがとうございました。
